

11.1・2

綾歌町でふるさとまつりを開催

愛好家が育てた菊の展示や焼肉パーティーなど、文化と食欲の秋を楽しめる恒例行事「あやうたふるさとまつり」が行われました。

1日目は雨のため、途中で焼肉パーティーを中止したものの、2日目は雨も上がり、子ども相撲やパラグライダー、獅子舞競演などを無事開催。訪れた大勢の観客は、様々なイベントを楽しんでいました。



10.29



「いのくまバス」をお披露目

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館正面の壁画、『創造の広場』のデザインを施したバスが完成し、お披露目式が行われました。

式では、城北幼稚園の園児が鼓笛隊の演奏を披露。その後、真新しいバスに乗り込み、普段とは反対向きの壁画を見学しました。

今後は、市主催行事などの移動手段として市内外を走ります。

11.15.18



市議会の報告と意見交換会

市議会が、市内6か所で議会報告会と市民との意見交換会を開催しました。議会基本条例に基づいた報告会は4回目。

定例会の内容や議論のポイントを紹介したあと、市政の方向性について市民との意見交換を行いました。



中讃ケーブルテレビの番組に出演

降水量が少ない讃岐平野は、サトウキビの生育に適し、江戸時代から栽培が奨励されて、讃岐三白(砂糖、綿、塩)の一つにもなっています。しかし、高価で、幕府への献上品にも使われ、庶民の口には、なかなか入りませんでした。そこで「せめて正月ぐらいは、砂糖を使ったあん餅を……」と、広まっ

知っちゃん  
餅の種

私たち讃岐人には、当たり前の「あん餅雑煮」ですが、全国的には香川県だけにしかない珍しい料理です。

丸亀市は、11万人という今の人口を維持することを目標にしていますが、そのためには、今ある雇用や、丸亀に暮らす若者を大切にすることが基本です。安心して働ける場所と暮らせる場所さえあれば、家庭も持ち、子どもも増えてきます。人間らしく働ける職場をどれだけ作るかがこれからの勝負です。

こんにちは  
皆さん  
市長 梶 正治

若者によい仕事こそ人口減少対策

政府は、本年9月に「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、我が国が直面する人口急減や高齢化、東京一極集中に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした持続的な「地方創生」や「女性が輝く社会」に全力を挙げる方針を示しました。



似顔絵  
城北小11年  
こみやましおんちゃん  
(当時平山保育所)



食材の買い物も自分たちで



防災訓練(バケツリレー)

綾歌学校群では本年度も、「ふるさとを愛し、明るく優しく、たくましくあいつつ・返事・言葉づかい」を目指し連携を取り組んでいます。

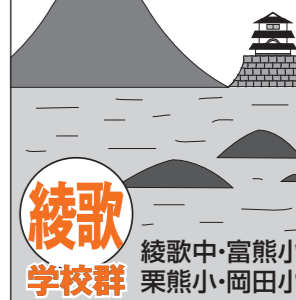
目標：ふるさとを愛し、明るく優しく、たくましく  
～あいつつ・返事・言葉づかい～

●合唱コンクールを鑑賞  
10月には、町内3小学校の6  
●学校連携  
●日帰りリーダーキャンプ  
夏休みに小中学生43人が、岡田小学校で日帰りリーダーキャンプを行いました。今年は、子どもたちが主体的に昼食メニューを考え、決められた予算の中で、一緒に買い物もしました。また、昨年度のリーダーキャンプで決めたことの実践発表と、今後の活動について協議しました。

●防災訓練  
各小中学校のあいつつ運動では、交通指導員をはじめ、コミュニティなど、地域の人たちに参加を得て、校門前などで行っています。  
●あいつつ運動  
各小中学校のあいつつ運動では、交通指導員をはじめ、コミュニティなど、地域の人たちに参加を得て、校門前などで行っています。

小中一貫

自立と共生③



教育委員会 ☎24-8821

年生93人が、アイレックスで行われた綾歌中学校の合唱コンクールを鑑賞しました。中学生は小学生に見られることで励みとなり、小学生は中学生の姿が目標になっているようです。



子育て・子育てでつながった子育て応援が集結!  
第2回 まるがめ子育てフェスタ

- 日時：12月7日(日) 午前10時～午後3時
- 場所：飯山総合保健福祉センター
- 対象：子育て家庭や子育てに関心のある人
- 内容：おはなし会、おもちゃ作り、育児の相談など
- 料金：無料

子育て支援団体や企業、行政が一体となるイベント!

大人も子どもも様々な体験ができる♪  
子育てがもっと楽しくなる情報が満載♪



当日は、おはなしの部屋を案内しちゃうよ♪  
見かけたら声かけてね～!

地域子育てひろば たんぽぽ ☎98-1238  
子育て支援課 ☎24-8808

いつも笑顔で!



「ここはエーとこや、入り江やから、波が穏やかで」  
山下 博さん  
(本島町・78歳)

春はメバル、夏はベロコ、冬はカレイがよく釣れる。船も持つとるけど、家から1分のところで「投げ」でおかずが獲れる」釣りファンにはたまらない。本島の山下さんは、65歳まで大阪で家具職人一筋。健康の秘訣は「毎日2杯の焼酎とマイペースでゆったり暮らすこと」納得です。